

2009年4月30日

各 位

会社名 : 住友商事株式会社  
代表者名 : 取締役社長 加藤 進  
(コード番号 8053 東証第一部)  
問合せ先 : 広報部長 鈴木 久和  
(TEL 03-5166-3089)

新中期経営計画「FOCUS'10」(2009～2010年度)に関するお知らせ

当社は、2009年度から2010年度までの2ヵ年の中期経営計画につき、  
添付別紙の通り策定致しましたのでお知らせ致します。

以上

「FOCUS'10 (2009年度～2010年度 中期経営計画)」  
～新たなステージにおける成長シナリオ～

当社グループは、1999年に始まる「改革パッケージ」以来、本年3月のGG Planまでの5期10年にわたる中期経営計画を着実に実行し、改革と成長を成し遂げてきました。2009年度から始まるFOCUS'10においては、次の10年を見据え、「新たなステージにおける成長シナリオ」を確立することにより、変化を成長につなげる価値創造企業を目指します。そのために、「健全性や効率性を再強化しつつ、価値創造力を高めることで中長期的な成長を図る」こと、および「ビジネス毎の特性や強みを活かし、多様な道行きを通して全社の成長につなげる」ことを基本方針として、経営理念に掲げる「新たな価値創造」に取り組んでいきます。

### ■ FOCUS'10 定量目標および計画・指標

FOCUS'10における定量目標および計画・指標は以下の通りです。

定量目標の各数値は、厳しい環境下においても当社の株主資本コスト7.5%を確保し、中期的にリスク・リターン15%を回復することを念頭に設定したものです。

尚、中長期的な成長を図る上で健全性・効率性の再強化が不可欠という観点から、全社総資産、全社フリーキャッシュフローの目安を以下の通りとしています。また、資産入替を促進するための全社的費用(50億円(税後))を連結純利益目標に織り込んでいます。

#### ○ 定量目標

- ・連結純利益(※)： 2009年度 1,150億円
- ・リスク・リターン： 2年平均 10%程度

(※)米国税務会計基準書第160号適用後の連結損益計算書における「当社株主に帰属する当期純利益」を示しており、2008年度の「当期純利益」と同じ内容です。

#### ○ 投資計画

- ・リスクアセット積増額(ネット)： 2年合計 1,000億円

#### ○ 健全性・効率性指標

- ・全社総資産： 2011年3月末時点で2009年3月末比横這い
- ・全社フリーキャッシュフロー： 2年合計で黒字を確保

### ■ FOCUS'10 定性目標

FOCUS'10では、2つの基本方針のもと、「メリハリある成長戦略の着実な実行」、「健全性・効率性の徹底的な強化」、「価値創造力を高めるための人材および組織づくり」に注力して取り組みます。

#### (1) メリハリある成長戦略の着実な実行

当社が行う様々なビジネスについて、それぞれの道行きを明確にし、成長を促進していきます。ビジ

ネス毎の特性・強みを活かすことで、多様な道行きを通じて全社成長につなげていこうとするものです。一方で、重点分野への取り組みを強化するために、メリハリある経営資源配分を行うとともに、戦略分野に対する支援体制を強化し、成長戦略を支えるために組織・体制の強化を図っていきます。

(2) 健全性・効率性の徹底的な強化

GG Plan で掲げた「質の更なる向上」については、今後も継続的に取り組んでいきますが、特に、バランスシート経営の高度化への全社的取り組みとグループ会社を含めた内部管理体制の更なる強化に注力します。資産の積極的・戦略的な入替、並びにバランスシート・マネジメントを推進することにより、新規投資の余力確保と事業ポートフォリオの改善、及びビジネスモデルの転換・高度化への取り組みを促進していきます。また、グローバル連結経営の礎となる内部管理体制については、危機管理体制の再整備を含め更なる強化を図っていきます。

(3) 価値創造力を高めるための人材および組織づくり

従業員一人ひとりの能力や意欲を高めるとともに、多様な人材の活躍を促進します。様々なビジネスに対応可能な人材の確保・育成をグローバル連結ベースで推進するほか、一人ひとりの多様な強み・スキルを引き出し更なる活躍を促進するために、組織における人材マネジメント力の強化を図っていきます。

(注) 「FOCUS'10」の「FOCUS」とは、「Future」(中長期的な視点)、「Originality」(個性・多様性の尊重)、「Core」(太い収益の柱の構築)、「Unity」(総合力の発揮)、「Soundness」(健全性・効率性の強化)の頭文字をとったものです。これら5つに「焦点を絞る」との意味を込め、新中期経営計画において特に重視する価値観を表現しています。

**住友商事グループの経営理念・行動指針**

私たちは、常に変化を先取りして新たな価値を創造し、  
広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指します。

**経営理念**

- ・健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現する。
- ・人間尊重を基本とし、信用を重んじ確実を旨とする。
- ・活力に溢れ、革新を生み出す企業風土を醸成する。

**行動指針**

- ・住友の事業精神のもと、経営理念に従い、誠実に行動する。
- ・法と規則を守り、高潔な倫理を保持する。
- ・透明性を重視し、情報開示を積極的に行う。
- ・地球環境の保全に十分配慮する。
- ・良き企業市民として社会に貢献する。
- ・円滑なコミュニケーションを通じ、チームワークと総合力を発揮する。
- ・明確な目標を掲げ、情熱をもって実行する。

以 上

## 参考資料① FOCUS' 10～基本方針・定量目標

## 『新たなステージにおける成長シナリオ』

## 【基本方針】

- 健全性や効率性を再強化しつつ、価値創造力を高めることで中長期的な成長を図る
- ビジネス毎の特性や強みを活かし、多様な道行きを通して全社の成長につなげる

## 【定量目標】

■連結純利益(2009年度)※ : **1,150億円**

■リスク・リターン(2年平均) : **10%程度**

※米国財務会計基準書第160号適用後の連結損益計算書における「当社株主に帰属する当期純利益」を示しており、2008年度の「当期純利益」と同じ内容です

## 【リスクアセット】

■2年間の積み増し額(ネット) : +1,000億円

## 【健全性・効率性】

■総資産 : 2011年3月末時点で2009年3月末比横這い

■フリーキャッシュフロー : 2年合計で黒字を確保

## 参考資料② FOCUS' 10～定性目標

- メリハリある成長戦略の着実な実行
- 健全性・効率性の徹底的な強化
- 価値創造力を高めるための人材及び組織づくり

事業ポートフォリオの更なる強化

中長期的に安定してリスク・リターン15%以上を  
確保できる体制を目指す